



たてくろジオパークだより

■特別寄稿 朝日町長 笹原 靖直

朝日町は、海拔0メートルのヒスイ海岸から標高3,000メートル級の北アルプス朝日岳・白馬岳に至る、ダイナミックなパノラマが広がる自然に恵まれた町です。また、立山黒部ジオパークの最東であるこの地域は、幅広い時代の地質が見られる貴重な「地質の宝庫」でもあります。境A遺跡や浜山玉づくり遺跡といった、全国的に有名な遺跡が至る所にあり、ヒスイなどを玉に加工した際の破片や、蛇紋岩類から作った石斧などが見つかっています。

縄文時代や古墳時代から玉作りに利用されていたヒスイは、美しさや日本人との生活との関わり、世界的な重要性などから「最も日本らしい石」として、日本鉱物科学会において「日本の石」に認定されています。日本の渚百選にも選ばれている「ヒスイ海岸」は、このヒスイの原石をはじめとして、様々な石がちりばめられた小石の海岸です。これらは、川を下り、海中を漂いながら磨かれて、海岸に流れ着いているのです。

今後とも自然環境・歴史・文化を探る町民講座や、学術に遊びや探検を取り入れたトレジャーハンティングなどを通じ、先人が育んできた大地と人のつながりを感じることができるジオサイトとして、さらに魅力を発信してまいりたいと考えています。

■中部ブロック大会およびジオガイドスキルアップ研修（ご報告）

中部ブロック大会に、事務局員2名、ガイド4名参加しました。

開催日時：平成30年12月1日（土）～3日（月） 開催地：伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク



【参加者感想】

急勾配で不規則な道路、一見して住みやすい場所とは言えない。実際、高齢になり伊豆を離れる人がいると言う。伊東市では独居老人の見回りを開始している。一方で、ありあまる大地の恵み、温泉あり、豊かな湧水あり、風光明媚な富士山・海岸線の景色、海の幸・山の幸がある。富山と比べ気候の良さも強く感じた。

まさしく今も動いている伊豆半島。動いている大地ゆえに、火山の噴火跡が居住できるように変化する過程を垣間見ることができる。伊豆半島ジオパークは地震に備えた防災が現実的な課題であり、今回お会いした方々の防災意識は高い。

人材、組織ともユネスコ世界ジオパークに認定されるだけのことはあると感じた。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■富山県立山カルデラ砂防博物館主催 はじめてのぶらかんじき（ご案内）

この冬、とっておきのアクティビティ！立山かんじきやスノーシューで自然の中に飛び出そう。
山が、森が、雪が、立山の冬が何倍も楽しくなる。



立山カルデラ砂防博物館主催の冬のツアー。
立山カルデラ砂防博物館の学芸員や立山ガイドの案内で
雪の上を歩きます。

- ◆開催日：平成31年1月13日（日）、20日（日）、27日（日）
2月17日（日）、24日（日）
 - ◆時 間：10：30～12：00
 - ◆定 員：15名（最少催行人員2名）
 - ◆対 象：小学生以上（小学生、中学生は保護者同伴）
 - ◆料 金：800円/人
 - ◆お申込：富山県立山カルデラ砂防博物館
学芸課（TEL076-481-1363）
- ※開催日前日の正午までにお申し込みください。

■黒部市吉田科学館主催 ジオ&みずはくツアー、ジオパーク自然教室（ご案内）

扇状地の施設を訪問しよう

（黒部の施設を再発見）

- ◆開催日：平成31年1月27日（日）
- ◆時 間：富山駅北口 9：00～16：00
地鉄新黒部駅 10：00～15：00
- ◆料 金：500円
- ◆定 員：25名
- ◆内 容：YKKセンターパーク、吉田科学館、
黒部市地域観光ギャラリーほかの見学

黒部の雪を楽しもう

- ◆開催日：平成31年2月3日（日）
- ◆時 間：13：00～17：00
- ◆料 金：無料
- ◆内 容：（屋内）雪の結晶作り
（屋外）積雪観察、かまくら体験、
かんじき体験

お申し込み方法、内容の詳細は吉田科学館（0765-57-0610）にお問い合わせください。

※1か月前から3日前までお申し込みを受け付けています。

■お仕事体験イベント「とやまドリームアカデミー」（ご案内）

富山の子供たち、学生に“夢の仕事”、“クリエイティブな仕事”を知ってもらうための1日だけの職業体験学校「とやまドリームアカデミー」がファボーレで開校されます。立山黒部ジオパークからは山岡専門員が「地質学者のお仕事」を紹介します。

期日：平成31年1月13日（日）10:00～17:00

会場：フューチャーシティー・ファボーレ（太陽の広場・ファボーレホール）



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



たてくろ 見どころ紹介コーナー

宝石が見つかる海岸 ～山・川・海を旅するヒスイ～

富山県の東端、朝日町の宮崎・境海岸は別名「ヒスイ海岸」とも呼ばれ、波打ち際でヒスイの原石を拾うことができます。ヒスイは、地中深くの岩石が高い圧力の下で変成することで作られる宝石の一種です。本来は白い石ですが、含まれる元素の量の違いによって、緑色や紫色、青色などに変化します。光を通すとぼんやりと輝くのが特徴です。

日本では、縄文時代から装飾品として利用されており、工房の遺跡も見つかっています。ヒスイは、お隣の新潟県糸魚川市の山中で見つかる石ですが、川で削り取られ日本海に流れ出たものが、西に流されヒスイ海岸に打ち上がってきたと考えられています。天気の良い休日には、ヒスイをこの手で拾おうと多くの人が海岸を訪れます。



ヒスイ海岸

立山黒部ジオパーク協会 事務局 〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階
Tel 076-431-2089 e-mail info@tatekuro.jp
Fax 076-482-3204 https://tatekuro.jp/ https://facebook.com/tatekuro



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

